



学校だより



「あゆみ」の表記変更について

今年度から「あゆみ」の表記を変更します。昨年度までは表1に示したように、評価の観点として文章表記をし、それぞれの観点の評価を総合して、1つの評定として表記していましたが、今年度からは、表2に示したように観点ごとに3段階の評定を表記することとしました。

また、この変更に合わせて、文章表記の見直しを行っています。

表1 昨年度までの「あゆみ」（6年算数の例）

	1学期			2学期			3学期			評価の観点
	よくできた	できた	もう少し	よくできた	できた	もう少し	よくできた	できた	もう少し	
										各教科に対する評価は、次の観点の評価を総合したものです。
算数										<ul style="list-style-type: none"> 算数に関心を持ち、活動の楽しさに気づき、生活に生かそうとする。 数学的な考え方の基礎を身に付け、見通しを持ち、筋道を立てて考える。 数量や図形についての表現や処理にかかわる技能を身につけている。 数量や図形に関する基礎的な事項の意味や性質などについて理解している。

表2 今年度からの「あゆみ」（6年算数の例）



	評価の観点	1学期			2学期			3学期		
		よくできた	できた	もう少し	よくできた	できた	もう少し	よくできた	できた	もう少し
算数	算数に関心を持ち、進んで学習しようとする。									
	学習したことを生かして、筋道を立てて考え表現している。									
	数量や図形について、表現や処理の技能を身につけている。									
	数量や図形についての意味や性質などについて理解している。									

Q1：なぜ、表記を変更するのですか？

A1：ひとくちに「算数」といっても、観点到示したように様々な能力に分かれています。その観点ごとの評定を示すことで、子どもたちの様子をより細かく把握することができるようになります。

Q2：評定の規準は？

A2：「よくできた」・・・目標に達し、さらに応用・発展が見られる
「できた」・・・目標に達している
「もう少し」・・・目標に対して、もう少し努力してほしい

Q3：どのような判断材料で評価するのですか？（例えば）

A3：「算数に関心をもち、進んで学習しようとする」
→ 授業に向かう積極性、プリントやノートへの記述、テストなど
「学習したことを生かして、筋道を立てて考え表現している」
→ 授業中の発言の内容、プリントやノートへの記述、テストなど
「数量や図形について、表現や処理の技能を身につけている」
→ プリントやノートへの記述、テストなど
「数量や図形についての意味や性質などについて理解している」
→ 授業中の発言の内容、プリントやノートへの記述、テストなど

Q4：全学年の「あゆみ」の表記を変更するのですか？

A4：1、2年生は、もともと観点及び単元ごとに評定を示していたので、表記の変更はありません。また、評定は今までどおり2段階です。
3～6年生は、教科ごとに総合的に評定していたので、今年度から観点別に評定を表記します。

Q5：道徳の評価はどのようになりますか？

A5：新たに道徳の評価欄を設け、個々の子どもたちの考え方の変容をとらえて、年度末に記述していきます。

Q6：外国語活動の評価はどのようになりますか？

A6：今までは総合的な学習と同じ欄に記述していましたが、今年度からは「総合的な学習の時間」と「外国語活動」に欄を分け、それぞれに評価を記述していきます。

以上、大きな変更点について QA 形式でお伝えしました。2020年度からは、学習指導要領が全面改訂されます。それまでは、移行期間として設定されているため、今回の「あゆみ」の変更については、移行期間に合わせた内容（道徳や外国語活動の評価の追加など）にとどめていますが、新学習指導要領が全面実施される2020年からは、「あゆみ」もさらに変更を加えていく予定です。

「あゆみ」が子どもたちの励みになり、子どもたちの成長を促していく役目を果たせるよう、今後とも内容の検討を重ねていきたいと思っております。

《ちょっと気になる「子どものからだと心」元気のための仮設的提案》日本体育大学 野井 真吾 氏
というタイトルの講演会に先日、出席してきました。この講演の中で大きく2つの提案がありました。

①自立神経問題の克服には（根底にある生活リズムに注目して）・・・

光・暗闇・外遊び のススメ

②前頭葉問題の克服には・・・

ワクワク・ドキドキ のススメ

今回は詳しく内容をお伝えできないのですが、①の「光」「暗闇」の部分は、スマホによる夜間の光刺激が体に及ぼす悪い影響などをメラトニンというホルモンの分泌のデータを元に説明してくれました。昼間は輝く太陽の光の中で活動することの大切さを、そして夜は暗闇の中で静かに眠りにつくことの大切さを感じました。機会をみつけてまた続きをお伝えします。

